

社会福祉法人 大館圏域ふくし会

—基本理念—

【破邪顕正】

人は、本来神仏により慈悲・慈愛の心を持ってこの世に誕生する。この法人に集う我らは、この心を以て、我が身の事はさておき、目の前の弱き方、障がいを持たれた方達に手を差し伸べることで、社会の奉仕者たらしとする。

—基本方針—

【運営に対する基本方針】

- ・ 特定社会福祉法人としてガバナンス（企業統治）を確保するため内部管理体制の基本方針に基づき法人の経営する第1種社会福祉事業、第2種社会福祉事業並びに公益を目的とする事業の適正な法人運営を行う。
- ・ 地域における社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。

【支援・介護に関する基本方針】

- ・ 福祉サービス利用者に対する的確な情報の提供及び利用者の意向を十分に尊重し、法人全事業所が福祉の原点である利用者本位のサービス体制の確立を目指す。
- ・ 福祉サービス利用者の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスの提供を行う。

【地域社会に対する基本方針】

- ・ 法人は福祉サービスについて、地域住民及び社会福祉に関する活動を行う諸機関、関係団体と相互に協力し、地域における社会福祉の増進に努める。
- ・ 災害発生時における福祉避難所として「要配慮者等」の受け入れ先としての機能を果たし地域社会に貢献する取組を行う。

【福祉人材に対する基本方針】

- ・ 良質な福祉人材の採用に向け、様々な広報媒体等を活用する手段を講じる。また、将来の福祉人材育成の視点から福祉の仕事の啓発としての情報発信に取り組む。
- ・ 福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働きがいのある職場づくりに取り組む。

令和8年度事業計画

【運営に関する方針】

- ・ コロナ禍以降、法人全体の収支状況が改善されていない状況に鑑み、今後も法人を継続させることを最優先に、聖域なく障害福祉サービス、介護保険サービス事業の統合や再編を計画し、将来的な収支改善を目指す。
- ・ 統合後の白沢通園センターの更なる収支改善を目指し、各科の見直しや廃止、生活介護の廃止を進めるために、各関係機関及び利用者への丁寧な説明を行い、加えて、新規事業である就労選択支援を関係機関と連携を図りながら進めていく。
- ・ 今年度末で受託辞退する秋田県北障害者就業・生活支援センターについては、関係機関と事業廃止に向けた進捗状況を確認しながら進めていく。

【支援・介護に関する方針】

- ・ 法人理念である「破邪顕正」の精神のもと、不適切な介護事象や虐待の問題を撲滅し、支援・介護のプロとして自覚を持ち、利用者視点に立った質の高いサービスを提供する。
- ・ 利用者への不適切な支援が続き、その教訓が活かされていない状況を踏まえ、会議体制に虐待防止WGを新たに設置する。加えて、法人で統一した虐待チェックを行い、各事業所において取り組むべき内容を明確化し、改善を図る。

【地域社会に対する方針】

- ・ 人口減少社会で働き手も利用される方も少なくなるなかで、法人内の運営協議会や各障害福祉・介護保険サービスの相談事業所が参加する会議で地域のニーズを聞き、できる限りそれに応えながら地域福祉の向上にも寄与貢献する。
- ・ 法人の事業再編に伴う、事業継続計画（BCP）を作成、見直しを行う。

【福祉人材に対する方針】

- ・ 厚労省が処遇改善加算及び補助金等での要件に示す、職員への賃上げ、生産性向上及び職場環境改善に向けた取り組みを全拠点で行う。
- ・ 将来的な「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」の上位認証を目指し、職員育成計画及び人事考課の見直しに加え、職員不足で厳しい中でも休日を増やせるかシミュレーションを行う。

本年度も役職員一丸となり、地域の皆様から支持され選ばれる社会福祉法人であり続けるために精進してまいります。

令和8年4月1日

社会福祉法人 大館圏域ふくし会
理事長 畠 澤 政 一